

# ひまわりの声 No.12

題字：高森政雄前区連会会長

編集・発行 港南区連合町内会長連絡協議会

## “港南区の新しい顔”区連長・区長を紹介します！

スポーツ好きで明るく元気！活動的なお二人です



藤田 <sup>よしはる</sup> 誠治 区連長

趣味は、卓球とジョギング、ジャージにリュック、自転車がトレードマークです。

### ～協働による地域づくり～ 新たな取組がスタート

こんにちは。6月から区連会の会長に就任いたしました藤田です。どうぞよろしくお願い致します。

自治会町内会の皆さまにおかれましては、いつも地域の運営や諸活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。また、日頃から区連会の活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

区連会と区役所が一緒になって取り組みを進めている「協働による地域づくり」。これは、自分たちが暮らす地域に愛着を持ち、「ふるさと港南」の意識を次世代につなげる、また、防災減災や地域防犯、見守り・支えあいなどの活動が全地区で行なわれ、向こう三軒両隣に「お互いさま」の関係ができています、そんな地

域を目指すものです。さらに、区民が自ら地域活動や健康づくりなどに取り組み、超高齢化社会の中でも、一人ひとりが元気に暮らせるまちの実現をも目指しています。

今年度は、実現のための一施策として、新たに「協働による地域づくり推進協議会」をスタートいたします。

この会議は、自治会町内会の中の連携・協力を密にし、身近な地域での活動を一層推進していくことを目的として開催します。区連会や委嘱団体など各団体の間で情報や意見の交換を行い、取組を共有するとともに、地域の活動団体と関係する行政機関が連携・協力するための場です。

自治会町内会の皆さんには、協働の地域づくりに参加をしていただき、みんなで仲良く、共に知恵を出し合い、できることから進めていただきたいと思います。それが、自治会町内会活動をより活性化させ、“つながり、はぐくむふるさと港南”の地域づくり運営を一步前進させると考えます。

この会議に対する、ご意見やご要望をたくさんお寄せください。

区民の皆さまのご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 引き続き「協働による地域づくり」を進めていきます

4月に港南区長に着任し、早4か月が経ちました。15地区連合町内会へお伺いし、自治会町内会の皆さまへ直接、今年度の区政運営方針をお伝えしてきたところです。お忙しい中、お時間を取っていただき、また熱心にお聴きいただき、ありがとうございました。どちらの地区へ伺っても「協働による取組を一緒に進めていこう」「一歩でも進められるようみんなで考えていきたい」と、熱い思いを語っていただきました。「この地域に住んでいてよかった」と誰もが思える

ように、これからもこの「協働の輪」を、皆さんと一緒に大きく育ててまいりたいと思います。

「こんにちは」「お元気ですか」と明るく元気に、そして優しく、みんなで声を掛け合える「ふるさと港南」にしていきたいと思います。どうぞ、よろしくお伺いいたします。

齊藤 貴子 区長

趣味は、スキーにハイキング♪そして今は区内の散策。地域のおちこちに出没しています。





## 大貫一幸前区長

横浜市の区長としては異例の「5年間」という長い期間、港南区長として在籍。精力的に地域に向く区長でした。

皆さま、前港南区長の大貫一幸です。

平成21年からの5年間、港南区の皆さま、自治会町内会の役員の皆さま、委嘱委員の皆さまには、多大なご支援をいただき、ありがとうございました。

この5年間、区役所を代表する「港南区民」として、川のクリーンアップ、防災訓練や音楽祭など、地域の様々な活動や行事に、地域の皆さまと一緒に参加させていただきました。その中で、地域は、まさに様々な活動を担う皆さんの力で形作られていること、高森前区連長がおっしゃっていた“パートナーシップ”が本当に大切であることを再認識しました。

そして、皆さんと協力し合えば、少子高齢化にも大災害にも対応し得る地域づくりができると確信し、「協働」を区政運営の柱のひとつにして取り組みました。

特に、昨年開校することができた「学び舎ひまわり」は、次世代につなげる「ふるさと港南」を目指して、地域と行政とが、お互いに顔と顔が見える関係をつくり、地域づくりと一緒に考えていく場、まさに「協働」そのものです。このような地域の皆さまと区役所の職員と一緒に学び合える場が作れたことは、港南区の大きな財産になると思います。

最後になりますが、私にとっても、港南区はふるさとになりました。“ふるさと港南”の基盤を作られている自治会町内会の皆さまのご活躍と「学び舎ひまわり」や「協働の地域づくり」の発展を心から祈念し、結びとさせていただきます。ありがとうございました。



# 我がふるさと港南

～住みたい・住み続けたい“まち＝地域づくり”を目指して～

## 前区長・前区連長が寄せる想い



「安全で安心なまち」それはまさに「住み続けたい」と思えるまちです。人と人とのつながりを大切に、魅力あふれるまちづくりのために、力を注いであげられた前区長・前区連長。お二人の“熱い思い”は、これからもこの港南区に脈々と引き継がれていくことでしょう。改めて、お二人に感謝の意を表したいと思います。



平成25年度「学び舎ひまわり」卒業生の皆さんと

## 高森政雄前区連長

平成14年4月1日 日野第一連合町内会 会長就任  
平成18年4月1日 港南区連合町内会長連絡協議会 会長就任

※総務大臣表彰受賞（平成25年11月）自治会町内会等の代表者として、顕著な功績が認められたもの



地域の皆さま、行政関係者の皆さま、そして区連会の皆さま、長い間本当にお世話になりました。

また、退任後もこのような機会を設けていただき、誠にありがとうございます。振り返れば、この「ひまわりの声」も私にとっては非常に思い出深いものです。

創刊は、平成21年3月。行政と区連会との協力関係・結びつきをより強いものにするために、発行しました。翌4月には、大貫前区長が就任され、その後の5年間、大貫区長と二人三脚で「協働の地域づくり」に取り組んでまいりました。

少子高齢化が進み、地域をとりまく環境が大きく変わっていく中、次世代を担う子どもたちが港南区を“我がふるさと”と確信できる地域、そして、住民一人ひとりが“住んでいてよかった、いつまでも住み続けたい”と思えるまちにしたいとの思いでいっぱいでした。

住民と行政がパートナーシップを深め、地域を運営していくということは、非常に大切でありながら、非常に難しいことです。

区連会はそのパイプ役としての役割を担っています。地域にとって一番身近な自治会町内会、その自治会町内会の思いを取りまとめると同時に、行政に思いをつなぐ…。これからも、区連会が丈夫な太いパイプであることを願います。

また、「学び舎ひまわり」は、大貫区長とのパートナーシップの集大成、信頼関係の賜物といえます。

手前味噌になりますが、職員と地域住民とが同じ土俵で学び合う、それが地域のリーダーを育てることにもつながるこの取組は、ある意味画期的といえるのかもしれませんが。

最後になりましたが、私は、これからも一区民として、「協働の地域づくり」「学び舎ひまわり」の今後を見守ると共に、協力を惜しまない所存です。どうか皆さまも、よろしく願いいたします。



## ～港南警察署長から～

神奈川県港南警察署 小玉 悟署長



区民の皆さんが主役、私たちは脇役。皆さんの目線大切にしていきます。

本年3月の人事異動により、港南警察署に着任した小玉でございます。

自治会町内会の皆さまにおかれましては、平素から警察活動全般にわたり、ご支援、ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

港南区民の皆さんは、非常に元気にボランティア活動や自治会町内会活動に取り組んでおられます。悪天候でも、早朝から見守りを行い、一人ひとりの子どもたちに声を掛け、一生懸命活動してくださっているすばらしい地域です。

このような皆さんの活動は、大変すばらしいことであり、とても有難いことです。

我々の仕事は、このような素晴らしい港南区民の皆

さんをお守りすることで、そのことに誇りを感じています。

そのため、署員には、“区民の皆さんが主役、我々は脇役となり、区民の目線を大切にして、誇りと使命感を持って、区民のために署を挙げ、署員一丸となって、丁寧な仕事をするように”と指導しています。

そして、区民の皆さんと絆を深め、「安全で安心して暮らせる地域社会の実現」を目指して“体感治安”を向上させる諸対策に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 「学び舎ひまわり」始動！

「学び舎ひまわり」とは、よりよい地域づくりを目指して、各地区連合町内会から推薦された地域の皆さんと区役所職員が一緒になって、学び合う場です。

初年度の平成25年度は、27人が卒業しました。2年目となる今年度も、まち歩き・視察・地域活動のプラン作成など、実践的な内容で実施されます。

# 新・地区連合町内会長から

今年度、地区連合町内会長に就任された皆さんを紹介します。



笹下連合  
町内会会長  
萩久保 頼則

前任の清水会長の後を受け、本年4月より笹下連合町内会会長を引き受けました、萩久保です。

副会長時代は、地域行事のことだけを考えて活動していましたが、これからは、地区連長としての責任があり、その重さに緊張し、使命感を覚えます。

笹下連合町内会では、単会の町内会では活動しにくい活動を、笹下地区社会福祉協議会と一体となり、一つの組織として、港南桜まつり・子ども防災体験キャンプ等多くの行事を実施しています。これからも、地域の皆さまと楽しみながら、安心して暮らせるような地域づくりにがんばっていききたいと思います。



日野第一連合  
町内会会長  
小後摩 基

本年度、日野第一町内会会長を仰せつかりました。非常に大きな存在の高森会長の後任ですので、責任と重圧を感じております。この1年は、副会長として覚悟を決めて、連合町内会の運営をしてまいりました。

日野第一連合は、江戸時代の吉原村の村域とほぼ一致しており、顔の見える関係づくりに最も理想的な地域だと思っています。

単会の10人の会長と協力しながら、各世代が安全で安心して暮らせる、明るいまちづくりを目指していききたいと思います。



港南台連合  
自治会会長  
齊藤 晴通

今年度、港南台連合自治会会長に就任しました。

港南台地域も、住民の高齢化が進んでいます。

自治会は、近隣住民の親睦会ですが、そのふれあい活動の中で、高齢者などの支援ができれば素晴らしいと思います。

現在、自治会役員の引き受け手がなく、困っていますが、自治会活動に生きがいを感じることができれば、役員不足の問題解決につながると同時に、高齢者が地域で元気に生き生きと暮らすことにつながるのではないかと考えております。



永野連合  
町内会会長  
竹森 繁登

永野連合は、12自治会町内会8000を超える世帯が加入する、広範囲にわたる地域です。そのため、全体会議で情報交換（提案、提言）を行い、さらに共催行事等で、日頃から、身近でお互いさまの和を広げています。

連合で掲げる「くじら計画」（永野地域福祉保健計画の愛称）が活動の軸で、「住み慣れた地域で、楽しく歳を重ねられるまちにしよう！」という目標に取り組み「温もりのある我がまち我が故郷」を、次世代を担う子どもたちに引き継いでいきたいと思います。

ひまわりの声では、港南区連合町内会長連絡協議会を「区連会または港南区連会」と記載しています。

## 編集 後記

「ひまわりの声」は、平成21年3月、区連会の活動を、広く区民の皆さまに知っていただくことを目的とする“会報”として、当時の五反田区長と高森前区連長の強い意向により創刊されました。

創刊から5年を経た今年度、この「ひまわりの声」に係わる多くの人が交代

となりました。今後、編集方針がどのようになっていくのか…ご期待ください。

■本紙および区連会へのご意見・ご要望は、下記区連会事務局までお寄せください。

港南区港南中央通10-1  
港南区役所地域振興課内

☎847-8391 FAX842-8193

■区連会会報担当  
遠藤良一／中島淑子  
編集委員  
松田英樹／筒井英子



区連会ホームページで情報発信

港南区連合町内会

検索